

○台風5号情報 (8月3日12時現在)

台風5号が、九州に接近・上陸する可能性が出てきました。8月3日12時現在、台風5号は九州の南東海上にあり、北西に進んでいます。

今後海水温の高い海域を通過するため、勢力を強めながら北上すると予想され、宮崎県全域が非常に大きい影響を受ける可能性が高くなっていますので、台風5号の勢力、進路、宮崎県への影響を解説します。

1 台風5号について

(1) 今後の予想進路

台風5号は7月22日ミッドウェー諸島付近で発生し、その後台風6号の影響などもあり、反転、南進するなど迷走台風となっています。しかし8月に入り、V字を描くように北西に進み、8月6日～7日かけて九州接近の予想になっています。

現在の予想進路で進んだ場合、九州の南西部(鹿児島薩摩半島付近)から九州を縦断する可能性が一番高くなります。その後、福岡から山口付近を通過し、日本海に抜ける予想です。

(2) 規模・強さ

台風5号は3日12時現在中心気圧945hPa、最大風速45m、最大瞬間風速60m、暴風半径130kmとなっています。

今後の予想として、さらに発達し、中心気圧940hPaになると予想されています。昨年の16号(日向市で豪雨)と同じように、発達しながら接近する時は、影響が大きくなりやすい傾向です。

現在の予想進路であれば、宮崎地方は6日から7日かけて暴風圏に入り、特に台風の東側になるため猛烈な暴風に見舞われる可能性が高くなります。

(3) 宮崎県への影響

現在の予想進路で影響を説明します。

- ① 宮崎県にとっては、最悪のコースとなり、過去にも台風13号(風台風)、14号(雨台風)と同じような影響を受ける可能性があります。本県全域で

○最大風速 30m 最大瞬間風速45m～50m

○雨量 4日～7日で400～500mm、南部山沿いでは700mm以上。

- ② 予想される現象としては、暴風、大雨(時間80mm以上の猛烈な雨)、竜巻により、崖崩れ、土砂崩れ、低地での浸水被害、河川の氾濫、道路の崩壊、家屋の全壊半壊、農業施設の破損、農作物への被害等が予想されます。

2 必要な対策の実施

台風5号の影響が避けられない状況になってきましたので、まだ影響の少ない4日までに必要な対策を取ってください。5号は台風の形から風雨とも強い傾向があり、特に大雨を降らせるような活発なスパイラルバンド(らせん状の積乱雲)を持っていますので、警戒が必要です。

総合農業試験場企画情報室 村岡精二(気象予報士)

